

第24回 核データ・グループ会合議事録

日時 昭和44年2月21日(金) 13時～17時30分
場所 原研, 東京本部第3会議室
出席者 井出野, 中島(竜), 西村, 五十嵐, 村田, 中島(豊), 岡本,
浅見(明), 菊池(康), 神田, 中村, 大野, 八谷, 浅見(哲)
(議長) 井出野, (書記) 浅見(哲)

議事

1. 前回議事録確認

- 1 頁下より6行目, 拡大幹事会の「拡大」とる
2 頁上より5行目, J. Nucl. Energy とる
3つの雑誌は2つの……………に訂正

2. 運営委幹事会の報告(中島(竜))

1) 数値データ利用規定

現在所内手続きを行なっている。

種々の規定を各委員に周知させるようにして欲しいとの意見あり,

2) 人事

若林, 川島, 志村の諸氏は続いて委員会に出席できるとのことなので,
所属変更の手続きを行なう。

園田氏の運営委員辞退に伴ない, 後任は片瀬氏になった。

3) 44年度実行予算

次の通りに決まった。

炉定数	: ENDF/Bの再評価	125万円
	FP炉定数の作成	55
核データ	: (n, r)の評価	40
	COMFORD サブルーチン	60

	$^{238}\text{U}(n, n')$ およびコード整備	100万円
	Carbon, MeV 中性子断面積の評価	40
熱化:	D_2O の散乱断面積(干渉を含む)	30
	JNDC テープの作成および $\sigma(E_0)$, $\sigma_{\text{tr}}(E_0)$ の計算	90
	中性子スペクトルの計算およびドブラー共鳴コードの 作成	60
	計	600万円
委員会運営費		300万円

3. ワーキング・グループ状況報告

1) (n, r) の評価 (西村)

資料の配布, 各 nuclide について説明

測定の方法, Standard などについて調査中

計算の準備はできている。Ni, Fe, Mo の 5 MeV 以上の level Scheme のデータが欲しい。

2) $^{238}\text{U}(n, n')$ (五十嵐)

計算の前にデータのチェックが必要

level scheme の evaluation をする必要がある。

3) ELIESE II (五十嵐)

IBM360 への変換は一応できた。

deuteron, polarization を含めること。断面積の plotting を行なう作業を行なっている。

automatic search は来年度になる。

4) MeV 領域の中性子反応断面積(中島(竜))

文献を集中的に集めた。S, Mg については検討するための準備ができた。

5) COMFORD (岡本)

次回までに数式をまとめ結果を報告する。

6) STEVE (八谷)

IBM360 への変換はできた。r 過程を加えることの作業中

4. 44年度実行計画 (中島(竜))

炉定数グループへの協力について議論が集中し次のような意見が出た。

- ENDF/B の再評価に協力できることがあるのではないか
- このグループでとり上げているものが含まれていればやってもよい。しかし、炉定数、核データ・グループとではとり上げる立場や時間の制約などに相違がある。
- renormalization, consistency の検討について協力できる点がある。
- どのような範囲で協力できるか検討の必要がある。
- evaluation の段階で consistency の検討が必要。今迄欠けていた。
- モデル・ケースについて具体的に話し合っ検討したら、
- 協力するときのこちらの心がまえが必要
- 個人対個人としての協力もある。
- 運営委に本日の討論の内容を話して欲しい。等々

この結果、3月中に炉定数グループとの合同の会議をもち話し合うこととし、申し入れることになった。

5. データ・シートの整理作業 (浅見(哲))

作業日 4月10, 11日

作業者 村田, 中村, 河原崎, 浅見(哲)

データ・シートの切 4月7日

に決まった。

次回は3月3日または4日の予定

議長は五十嵐氏，書記は大久保氏

以 上